

# 祇園新橋 まちづくりニュース

祇園新橋地域のまちづくりをすすめる、ひとつの集まりとして「祇園新橋まちづくり部」は活動をしています。「祇園新橋まちづくりニュース」は、これからのまちづくりを皆様とともに考え、その取組をお知らせするニュースです。

2017年(平成29年)  
7月 Vol.26

発行：祇園新橋まちづくり部

TEL:090-1918-4249(富田)

Email:gionshinbashitatumi@gmail.com

HP: http://gion-shinbashi.blog.jp/

## 第32回 意見交換会のご案内

### 祇園新橋の風情を守る！計画書づくり

祇園新橋の風情に大切なものは？計画書をみんなで作りながら考えていきます

【日時】2017年7月11日(火)午後1時30分~3時

【場所】「登希代の2かい」(大和大路新橋通上ル東側)

【申込】申込は不要です。会費も無料です。気楽にご参加ください。

祇園新橋を大切に思う皆さまのご参加お待ちしております！

#### 報告

#### 地域×京女×フォトグラファーによる景観づくりキャンペーン



6月12日(金)、地域と写真家と京都女子大学が一体となって、観光マナーの啓発活動を行いました。

学生さんによるアンケート調査と地域住民・事業者・写真家も参加したチラシ配布をしましたが、テレビや新聞報道もあり、広く観光マナーに対する問題提起が出来たと思います。



第31回意見交換会でキャンペーンを振り返り、今後の対応も含め、以下のような意見が出ました。

- ・チラシはお店等にも置いてもらう。
- ・京都駅の観光案内所等でもチラシを配架してくれるよう京都市観光 MICE 推進室に依頼した。
- ・写真家や事業者が会(団体)を立ち上げて、自助努力してもらうのが一番だと思う。
- ・地域としても、写真家の活動をバックアップできるよう、認定や協定を結ぶこともできる。
- ・秋の観光シーズンに向けて、活動を継続していきたい。
- ・学生からは、地域に入れて、うれしかった。地域の力になれて良かった、という感想があった。
- ・学生が地域に入って、実際に活動すると、意識が変わったのがわかる。教育的にもよい機会となった。

## 辰巳大明神土用供養祭のご案内

【無病息災・家内安全・商売繁盛】を祈願いたします m(\_ \_)m

【日時】2017年7月25日(火)午後1時~

【準備】午前10時から(1時間ほど)

【片付】午後1時半から(終了後、足洗としてお雑煮をご用意します)

京都市建設局道路環境整備課と関西電力をお招きして無電柱化についての勉強会を行いました。また、6/12に行われた京女さんと連携した前撮り業者のマナー啓発キャンペーンについて振り返り（1面）と意見交換を行いました。

無電柱化・撮影マナー・交通規制いづれも、様々な意見がありますので引き続き意見交換をしながら、考えていかなければなりません。多くの意見がより良い解決策につながりますので、気軽にお声掛けください



6月13日（火）「登希代の2かい」にて。参加者は24名でした。

#### 【勉強会・意見交換会のご報告】

##### 1. 無電柱化に向けてキックオフ！（勉強会）

- ・地中化による無電柱化と、裏配線や軒下配線など、地中化以外での無電柱化の手法がある。
- ・手法による長所と短所がある。地中化以外は、整備費用は安いですが、裏配線は表から見えない裏（通り）の協力が必要で、見えない所は汚くなる。軒下は、1軒の反対で成立しなくなるほか、建て替えの際、調整が必要となる。
- ・トランス（地上機器）の真下にメンテナンスのための電力柵が必要。トランスは、車道と歩道が分かれていないところには、基本的に置かないことにしている。
- ・柵を入れる際、水道、ガスなどの移動が必要な場合がほとんどで、関係する企業との調整が多い。
- ・トランスは湿気を嫌うため地下に埋められない。熱をもつので放散させる必要がある。
- ・50m間隔での設置が理想的。距離が遠くなると電圧が落ちる。需要の大きいところであれば、電柱につき1本。
- ・この地域なら何基必要か？←現在、電柱上の機器数から推測すると最低7機は必要。
- ・現在、高圧で契約しているところも5件ある。縄手との接続を考えると、開閉器（高圧用の地上機器）も置く必要が出てくる。
- ・管路部の設置工事は1晩に4m程度。他の工事もあり1年間で、200mくらいが実際の限界とみている。
- ・整備区間の境では、地中から地上へ出すために、支線が増える。境界周辺でデメリットが出て、問題になる場合がある。
- ・地域からは要望書を出す方が進めやすいが、住民で話がまとまったから進められるという話ではない。
- ・国の無電柱化の推進法が昨年施行され、無電柱化の5か年計画の策定にあわせて割り当てがされ、自治体はそれを受けて進めることになる。
- ・無電柱化を実施する路線について、市と事業者の合意をとって整備計画を策定し、初めて準備ができる。
- ・合意形成に1年、予備設計と詳細設計で2、3年して工事に取り掛かるが、道路工事が終了後、家屋への引込みと切替え工事、電柱撤去まで2、3年程度を合わせると完了まで10年近くかかることもある。
- ・工事完了後も、電柱撤去までは電柱とトランスが両方ある状態となる。
- ・トランス置き場が決まっている方が、事業が進めやすい。決っていないと設計段階でも揉めることがある。
- ・引込みについては個人の費用負担はない。

##### 2. マナー啓発と今後の道路使用のあり方について

- ・ここは自動車道路だから、危険だと言っている。
- ・これに対して、公共の場だから言われる筋合いはないと反論される。
- ・怒ってくる人もいる。かなりの説得が必要。言い方を考えるのに気を使う。
- ・通行止めになっても、公共の場であることには変わらない。この使い方に対し、どういえるか。その準備も必要
- ・公共の考え方が、日本とヨーロッパでは違う。日本にとって公共は、何をやってもいい場所という感覚。ヨーロッパでは、みんなの場所。日本でも、ここは貴方だけのものではないですよ、ということを伝えなければ。
- ・歩行者専用道路にすることの是非は検討が必要。タクシーの利用や前撮りし放題にならないか、歩行者専用になった際、よりマナーが悪くならないか、不安がある。

##### （交通規制の要望書提出について）

- ・要望書を皮切りに、どう問題に対応していくかは、考えていきたい。
- ・ハンブやポネルフなどどうか？
- ・時間を決めてテスト（社会実験）もあってもいいかも知れない。
- ・運用は、24時間かどうか検討が必要。
- ・白川は10年来話をされていて、今注目を集めている時期なので、タイミングかと考える。

#### 予定

- 7/11（火）13:30 第32回意見交換会
- 7/17（月） 祇園祭 神幸祭
- 7/25（火）13:00 辰巳大明神 土用供養祭（10:00～準備）
- 8/1（火） 八朔